



製薬業と女工

星製薬株式会社社長

星

曾て操縦者たり、政治家たりし氏は、今や實業界の第一流に立ち、其の縦横の手腕を振て、堂々たる經營振りを發揮してゐる。本誌の爲めに其の女工觀を吐露されたのは記者の多とする處である。

余が米國式工場經營法を範とし、拮据其の任に奉じて以來約十年、未だ工場法の設けなかりし當時から、職工の勤務時間を午前八時から午後五時迄とし、爾來今日に至て居る。此の勤務時間は九時間ではあるが、此の中晝食の休息時間があり、決局正味の労働時間は八時間位に過ぎない。されば他の劇務に従事して居る職工に比し約二時間は尠ないと思ふ。徒に長時間を鞭撻して酷使するよりは、短時間に精力と注意力を傾注せしむる方が彼等の能率を高むることが出来る。

本社の女工は僅かに四百八位に過ぎないが、其の質に於ては他の工場的女工に比して決して遜色なきを誇る事が出来る。余の方針として女工であるからと言って、此を單に機械かなんぞのやうに視ることが出来ないものである。皆な此れ人の母であり、人の娘である、立派な人格者として待遇せねばならぬものと思つてゐる。

學問を要せない、單に技術的工人としての價値を言へば、練習宜しきを得れば女子は男子に劣らざる能力を持つて居ると言ふことが出来る。唯だ女子に

困ることは身體の關係上仕事に斷續が出来ない。ムラが多い、精神の平靜が保てない場合が常にある。斯う言ふ肉體上の不便のある爲めに、製薬業の如き微密な科學的智識を要する事業は責任のある仕事をさすことが出来ない。例へば藥の分量を秤るとか、調劑するとか、那麼責任のある仕事には適しないが、熟練に依る仕事は却て男子以上である。

寒暖計も猶ほ計ることの出来ぬやうな微妙な温度の變化を感知したり、遠心機を以て、水を斷る時、其の水の絞

り加減を知る等のことは却て男子以上の熟練を持ってゐるのがある。

次に製藥業が女に適當して居ることは、斯の業は他の仕事に比して最も深い注意を要することである。他の事業には一氣阿成的に拙くとも分量を多くすればよいと言ふ點もあるが、製藥業許りは何の部面を見ても、拙速でよいと言ふ處は全くない。何處までも細慮綿密にしなければならぬのである。

隨て本社では女工の工資は、分量に依りて定めず、單に時間で計算することにしてある。長時間を要して僅かの製品を作っても其の爲し得たものが良好であれば、それでよいとして置くのである。

取扱ふ品が品であるから斯ふして置かなければ、所謂の粗製濫造に流れるのである。此の邊が煙草工場や何かと異なる點であらふ。

女工のみに限らず、何業によらず、將た男女に限らず、精神的の満足と、心的自由と慰安がなければ、充分其の能率を發揮することが出来

ぬ心廣く體胖かであれば、樂々と仕事か出来るのが當然である。昔の奴隸のやうに背後から鞭撻されて恐る々々仕事をやるやうでは満足な結果は得られない。

本社は茲に鑑みる處あつて、一年に幾回と期日を定めて、女工に帝劇の總見をさせることにしてある。此の如き企ては何所の社も試みざる事、本社に聊か誇とする處である。

また眞夏の炎熱最も甚だしい時期に於て函根に在る本社の強羅別荘に、女工達を呼んで數日間避暑せしむることにし、本年最初の試みをしたのである。自畫自讀をするのでないが函根に在る本社の別荘は第一とは言へぬが第三位には下らない、此の別荘は全く本社男工に慰安を提供する目的で作られたものであつて、世上多くの富豪が自己一人の榮華を誇る爲に莊宏なる邸宅を構ふることは、聊か意味が違ふて居る。

又た根本奨勵法として、二年以上勤務したるものには時計を贈り、三年以上に達したるものには筆筒を與へるや

うなことをして、其の勞を賞し、激勵して居るのである。

此を要するに衆と共に樂しむの精神を忘れず、社員の喜憂を自家の喜憂とし、一切平等の見地から男工たり、女工たるを問はず、彼等を家族として遇するのでなくては、人心を收攬することも出来なければ、其能率を遺憾なく發揮せしむることも出来ぬと信ずる。

ロツクフェラーの富の礎

幾十億の大金持となつたロツクフェラーも其始めは粒々辛苦の貯金が基であつた、彼が十六歳で商館の手代となつたときは、その給料は頗る僅かであつた、然るに僅かな収入のうちから儉約して積立てた金が、やう／＼千圓に達したとき、彼はこれを以て獨立の商人となつた時代の當時の彼が小遣帳に依れば一に教會の獻金、二に日曜學校の寄附、三の散髪代、四に洗濯費といふ順序で、無駄なことにば餘一文も使つてゐなかつたといふ。